



1/20 ~ 1/22 第16回 WNJ 全国会議 in 埼玉に全国から約900人が参加!

いのちと暮らしを守るあたたかな経済 ～ワーカーズ・コレクティブで広げよう! 社会的連帯経済～

第16回全国会議では、開催の目的を社会的連帯経済におけるワーカーズ・コレクティブの価値と使命を確認し実践につなげるために、私たちの可能性と今何をすべきかについて話し合いました。社会的連帯経済の担い手として地域で実践している団体との連携やネットワークを広げていけるかを議論。混沌としているこの時代にワーカーズ・コレクティブとして働くということ、地域でつながり、ともに暮らし生きること、命をつなぎたすけあうことの大切さを3日間にわたり学び語り合いました。



1月20日(土) 全体会 川越市の会場とオンライン合わせて約750人が参加



第1部 基調講演 藤井敦史 (第2部 コメンテーター) 立教大学コミュニティ福祉学部教授

社会的連帯経済の魅力と市民社会の役割

労働者協同組合法時代のワーカーズ・コレクティブの使命と可能性

を協日ど経ブワ社展基
講同本のこ済ー会的戦調
演労働のにこにたのたを演
され働の社あるにのたを
まし働の的意のこをを
た。の今あ、のこをを
にの今のの、のこをを
つ経の、の、のこをを
つ経の、の、のこをを
て済後力連、の、のこをを
とには、の、のこをを



第2部 パネルディスカッション

埼玉から社会的連帯経済を発信

埼玉における連携、連帯の実践事例の報告から課題を共有し、今後の全国的な社会的連帯経済実現に向けた展望について意見交換を行いました。



第2部 コーディネーター WNJ代表 藤井恵里

実践事例報告

- | | |
|---------------------------|-------|
| (一社) コンパスナビ (青少年自助自立支援機構) | 河本 稀英 |
| (一社) 埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会 | 安島 裕美 |
| 川越市役所 産業観光部 副部長兼産業振興課長 | 飯野 英一 |
| 生活クラブ生活協同組合 埼玉 理事長 | 石井 清美 |

1月21日(日) 自主企画

第1企画 社会的連帯経済が盛んな スペインの

社会的経済の活動を知ろう!

(一社) ワーカーズ・コレクティブぶろぼの工房

講師: Salvador Pérez Sempere
サルバドル・ペレス・センペレ
スペイン連帯経済ネットワーク (REAS)
バレンシア州連帯経済ネットワーク元代表
〈デル・カンパ・ア・ラ・タウラ〉所属



現地の報告は多くの学びがありました。

第2企画

事業継続のために
必要なことを改めて考える
～事務局ワーカーズとして
現場から感じたこと～

事務局ワーカーズ・コレクティブLargo



第3企画 ワーカーズ・コレクティブの起業相談と 労働者協同組合法について

(一社) 埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会



懇親会

大好評! ワーカーズのオードブル

- カップ寿司・サツマイモコロッケ
- 田楽・がんもの炊き合わせ
- 鰯の黄金焼き・鶏の香味ソース
- 手羽先のロースト・ライスコロッケ
- 5種野菜のサラダ・寒天寄せ
- レモンケーキ・プリン・コーヒ

ワーカーズ・コレクティブにもご協力いただきました。



長野のみなさん



現地実行委員長



懇親会には北海道から九州まで約280名が集い交流を深めました。

1月21日(日) 分科会 6分科会が開催され、テーマに沿って活発な意見交換や議論がありました。

● 第1分科会

子どもと共に歩み、みんなでつくろうあたたかい社会

基調講演

(N) 豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 栗林 知絵子



基調講演では、自らの地域での活動に活かして事業と活動を継続していくヒントをお話いただきました。また、地域のなかで世代を超えてさまざまな人と連携して子どもたちの育ちを支援している団体の事例を共有しました。

事例報告 コメント 栗林知絵子

- * 北海道 子ども支援ワーカーズ みんなのいえ (鈴木)
- * 神奈川 (N) 霧が丘ぷらっとほーむ (根岸)
- * 埼玉 (N) ワーカーズコレクティブ こうさてん (打越)

● 第3分科会

「配る」を通じて何を解決するのか！ (協同組合間協同でつくる社会的連帯経済)

基調講演

生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 常務理事 安部 裕子

協同組合が社会的連帯経済の担い手として位置づけられ期待されるなか、その使命を果たすための「生協と配送ワーカーズ・コレクティブの共通ミッション」は何かを議論し、改めて「配送ワーカーズ・コレクティブの存在意義」を確認しました。



パネルディスカッション・参加者意見交換
コーディネーター 安部裕子

- * (企) ワーカーズ・コレクティブつくし (並木)
- * 生活クラブ生活協同組合・長野 (千村)
- * (企) ワーカーズコレクティブ・レインボー (石原)
- * 生活クラブ生活協同組合・東京 (金丸)

● 第5分科会

GSEF (GlobalSocialEconomyForum) の報告から 社会的連帯経済を学ぶ

基調講演

柳澤 敏勝 明治大学名誉教授

GSEF ダカール大会で報告された、3つの日本の事例から、社会的連帯経済への関心と自覚を深め、今後の展開を確認しました。



事例報告 コメント 柳澤敏勝

- * 庄内 FEC 自給圏ネットワークの活動から生活クラブ事業連合生活協同組合連合会 顧問 (伊藤)
- * 東日本大震災と漁業崩壊からの復興 ―協同組合と地方政府― 社会的連帯経済を推進する会 (丸山)
- * 座間市就労準備支援事業共同企業体で実施している「はたらっく・ざま」の活動とワーカーズ・コレクティブ運動 (N) ワーカーズ・コレクティブ協会 (上田)
- * 自治体の福祉施策と「つながり経済」座間市福祉部参事兼福祉事務所長兼地域福祉課長 (林)

● 第2分科会

地域とつながり食事業の拡大・継続をしよう！



継続が課題となっている食事業を継続するための必要な施策や事業安定のためのツールの活用、販路の開拓などを共有しオンライン参加者も交えて意見交換をしました。

事例報告 進行 野中美保子 (WNJ 食事業会議)

- * 東京 (N) こすもす (熊谷)
- * 千葉 (企) ワーカーズ・コレクティブ樹 (藤堂)
- * 埼玉 (一社) ワーカーズ・コレクティブむすび (大高)
- * 埼玉 ワーカーズ・コレクティブ食べものや (後藤)

● 第4分科会

共に働いていいね！～フラットな働く場づくり～



働くことで、社会とのつながりを作ることは、誰にとっても暮らしが豊かになることです。排除や差別のない事業所を拡げていくことをめざし、「共に働く」ことの意味を改めて議論しました。

事例報告・パネルディスカッション
コーディネーター 三井さよ (法政大学・社会学科)

- * 愛媛 ワーカーズ・コレクティブピース (門田)
- * 札幌 札幌市障害者支援センターライフ (加藤・田中)
- * 千葉 (企) ワーカーズ・コレクティブ紙ふうせん (宮野)
- * 東京 アーバンズ合同会社 (西浦)
- * 神奈川 福祉クラブ生活協同組合 (有賀)

● 第6分科会

労働者協同組合法施行一年、働き方や地域を自治する 人を増やしていこう

基調講演

労働者協同組合の設立状況と
地域における協同労働の可能性
厚生労働省労働者協同組合業務室
室長 水野 嘉郎



協同労働の団体を地域に拡げ連携して、社会的連帯経済の実態をつくるため、労働者協同組合へ移行・取得・検討中の団体の話を聞き、ワーカーズ・コレクティブの働き方の再確認と今後の活動へ繋げる機会としました。

事例報告・パネルディスカッション コーディネーター WNJ (井上)

- * 北海道 ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会 (齊藤)
- * 埼玉 (企) たすけあい輪っかは (吉田)
- * 三重 労働者協同組合コモンウェブ (山浦)
- * 神奈川 ワーカーズ法対応の連合組織準備会 (落合・五十嵐)

1月22日(月) オプショナルツアー

現地実行委員会が用意くださったツアーでは、生活クラブ埼玉の協力も得て、事業所見学、ワーカーズの美味しいお弁当や小江戸川越での食事、参加者との交流など楽しい時間を過ごしました。



飯能コース 飯能 DC つどいの運営と地域貢献を学ぶ



川越コース 川越の歴史と市民による街づくりを学ぶ



三富コース 三富新田とハニー Bee の養蜂事業を学ぶ



平和コース 丸木美術館見学と地元野菜のお食事